

FIM 効率や実績指数に栄養状態と筋肉量が影響を及ぼすか後方視的に検討

1. 研究の対象

2018 年 11 月～2019 年 3 月に当院を退院し、入院中に 1 カ月以上リハビリを行った患者

2. 研究目的・方法

目的: 栄養状態と筋肉量がリハビリ効果に影響があるか調査すること。

方法: 当院入院患者で 1 カ月以上リハビリを実施した患者を対象とする。

栄養状態(BMI, アルブミン、総蛋白)と筋肉量とリハビリ効果(FIM)に有意な相関があるか調査を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: BMI, 総蛋白、アルブミン値、筋肉量、SMI (骨格筋指数)、FIM 値、入院期間

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者:

京都中部総合医療センター リハビリテーション科副部長 川辺 康司

-----以上